

## ○ 変遷

明治 12 年 (1879) 7 月	開港虎列刺病伝染病予防規則公布 (我が国の検疫制度の始まり)
明治 30 年 (1897) 4 月	伝染病予防法公布 (野口英世、横浜海港検疫所検疫医官補に任ぜられる)
明治 30 年 (1897) 7 月	臨時海港検疫所実施港の指定 (那覇港) が指定される。
明治 32 年 (1899) 2 月	海港検疫法公布 (海外から来航する船舶に対する恒常的検疫制度の確立)
明治 33 年 (1900) 3 月	那覇臨時海港検疫所 開設
大正 2 年 (1913) 6 月	那覇臨時海港検疫所 閉鎖
大正 8 年 (1919) 8 月	那覇臨時海港検疫所 開設
大正 10 年 (1921) 2 月	那覇臨時海港検疫所 閉鎖
昭和 21 年 (1946) 1 月	沖縄県行政分離
昭和 27 年 (1952) 4 月	琉球政府 創設 (米国民政府は日本国籍船舶のみの検疫実施を許可)
昭和 28 年 (1953) 9 月	那覇検疫所、名瀬検疫所 (鹿児島県奄美大島 現在の奄美市)、 平良検疫所、石垣検疫所を設置
昭和 29 年 (1954) 9 月	名瀬検疫所を廃止
昭和 30 年 (1955) 5 月	那覇検疫所に渡久地出張所 (沖縄県国頭郡本部町、運天出張所 (沖 縄県今帰仁村) を設置
昭和 35 年 (1960) 3 月	那覇検疫所に泊支所を設置
昭和 36 年 (1961) 7 月	那覇検疫所に那覇空港支所を設置し、11 月から検疫を開始
昭和 37 年 (1962) 12 月	琉球機構改革により那覇検疫所を琉球検疫所に改称し 4 支所 (泊 支所、那覇空港支所、宮古支所、八重山支所)、渡久地出張 所及び与那国駐在所の設置組織統合
昭和 47 年 (1972) 4 月	沖縄県の本土復帰 那覇検疫所、那覇空港支所、金武出張所、中城出張所、泊出張所、 平良出張所、石垣出張所の設置
昭和 47 年 (1972) 5 月	那覇検疫所に食品衛生監視員が駐在
昭和 48 年 (1973) 11 月	泊出張所を廃止
昭和 54 年 (1979) 6 月	金武出張所と中城出張所を統合し金武・中城出張所
昭和 59 年 (1984) 4 月	平良出張所の無人化、石垣出張所管轄
平成 3 年 (1991) 10 月	那覇空港支所に食品等の輸入届出窓口を開設
平成 9 年 (1997) 2 月	那覇空港支所を那覇空港検疫所支所に改称
平成 27 年 (2015) 10 月	那覇空港検疫所支所で予防接種業務を開始
平成 31 年 (2019) 4 月	平良出張所を有人化